

## 平成 27 年度事業報告書

(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

### 会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	本年度末 平成 28 年 2 月 29 日 現 在	昨年度末 平成 27 年 2 月 28 日 現 在	
名誉会員	58	60	-2
永年会員	254	265	-11
正 会 員	3810	4203	-393
学生会員	765	529	236
維持会員	218.5	219.5	-1
特別会員	553	567	-14
公益会員	382	389	-7
計	6040.5	6232.5	-192

#### 1. 第 4 回定時総会 (定款第 17 条)

日時 平成 27 年 4 月 21 日 (火)  
場所 五反田文化会館第一会議室 参加者数 116 名

#### 2. 会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。  
発行年月日 巻 号 発行部数  
自 平成 27 年 3 月 5 日 2015 3 6400  
至 平成 28 年 2 月 5 日 2016 2 6400
- 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。  
発行年月日 巻 号 発行部数  
自 平成 27 年 3 月 5 日 64 3 2100  
至 平成 28 年 3 月 5 日 65 2 2100
- 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。  
発行年月日 巻 号 発行部数  
自 平成 27 年 3 月 10 日 31 3 650  
至 平成 28 年 2 月 10 日 32 2 640  
まで毎月 1 回 10 日に発行
- 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。  
本誌はオンラインジャーナル。  
発行年月日 巻 号  
自 平成 27 年 3 月 10 日 31 3  
至 平成 28 年 2 月 10 日 32 2  
まで毎月 1 回 10 日に発行
- メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4000)。
- 次の書籍を編集し、発行した。
  - 「役にたつガスクロ分析」(みみづく社)
  - 「LC/MS, LC/MS/MS の基礎と応用」(オーム社)
  - 「第 2 回 LC 分析士二段試験解説書」(本会)
  - 「第 1 回 LC 分析士三段試験解説書」(本会)
  - 「第 2 回 LC/MS 分析士初段試験解説書」(本会)
  - 「第 1 回 IC 分析士初段・二段試験解説書」(本会)
- 教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

#### 3. 講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条 (2))

- [研究発表会]
- 第 75 回分析化学討論会  
日時 平成 27 年 5 月 23 日・24 日  
場所 山梨大学甲府キャンパス (山梨県甲府市) 参加者数 593 名
  - Separation Science 講演会  
日時 平成 27 年 5 月 23 日・24 日  
場所 山梨大学甲府キャンパス (山梨県甲府市) 参加者数 約 150 名

- 第 64 年会  
日時 平成 27 年 9 月 9 日～平成 27 年 9 月 11 日  
場所 九州大学伊都キャンパス 参加者数 1116 名
  - 2nd Asian Symposium on Analytical Sciences  
日時 平成 27 年 9 月 9 日・10 日  
場所 九州大学伊都キャンパス 参加者数約 150 名
  - 特別公開シンポジウム「企業活動を最前線でリードする分析化学」  
日時 平成 27 年 9 月 9 日 (水)  
場所 九州大学伊都キャンパス 参加者数約 200 名
  - 日本学術会議化学委員会分析化学分科会企画講演会「我が国の計測分析プラットフォームをどのように構築すべきか」日本分析機器工業会・日本分析化学会・科学技術振興機構 共同主催  
日時 平成 28 年 1 月 20 日 (水) 13 時～18 時  
場所 日本学術会議講堂 参加者数 約 150 名
- [講習会]
- 第 33 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)  
日時 平成 27 年 6 月 23 日・24 日  
場所 飯田橋レインボービル 参加者 62 名
  - 第 20 回分析化学における不確かさ研修プログラム  
日時 平成 27 年 6 月 18 日・19 日  
場所 日本電気計器検定本社 参加者 18 名
  - 第 21 回分析化学における不確かさ研修プログラム  
日時 平成 27 年 11 月 12 日・13 日  
場所 日本電気計器検定本社 参加者 18 名
  - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 16 回ダイオキシン類分析技術セミナー」  
日時 平成 27 年 10 月 14 日・15 日  
場所 ㈱島津製作所東京支社 参加者 14 名
  - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 19 回水中の微量金属分析」  
日時 平成 27 年 10 月 16 日及び平成 28 年 1 月 29 日  
場所 ㈱オーム社第 1 ゼミルーム 参加者 23 名
  - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 14 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」  
日時 平成 27 年 10 月 29 日・30 日  
場所 飯田橋レインボービル 参加者 12 名
  - 第 4 回分析化学の基本と安全セミナー  
日時 平成 28 年 2 月 4 日  
場所 ㈱島津東京支社 参加者 59 名
- #### 4. 調査・研究及び建議 (定款第 5 条 (3))
- [JIS]
- 平成 25 年度に日本規格協会の委託に基づき、JIS Z 2615「金属材料中の炭素定量方法通則」並びに JIS Z 2616「金属材料中の硫黄定量方法通則」の改正原案作成をしていたが経済産業省管轄の金属・無機材料技術専門委員会の審議を経て、平成 27 年 3 月 20 日改正版として発行された。
  - 平成 27 年度区分 A の日本規格協会の委託に基づき、JIS K 0212「分析化学用語 (光学部門)」の改正原案作成を委員長に東京理科大学由井宏治先生、幹事に東京工業大学火原彰秀先生により 2015 年 6 月から 2016 年 1 月に改正原案を作成していたが、現在、規格調整分科会の審議に諮られる段階にきている。平成 28 年度に改正版発行の予定。
  - 平成 27 年度区分 C の日本規格協会の委託に基づき、「分析化学用語 (熱分析部門)」新規制定の原案作成を委員長に神奈川大学西本右子先生、幹事に産業技術総合研究所の津越敬寿委員により、2016 年 2 月 25 日の第 1 回委員会を開催した。本年 11 月までに委員会及び分科会を計 4 回開催する予定である。
  - 2009 年の改正原案作成委員会以来見直しをされていないものに、JIS K 0050「化学分析方法通則」がある。化学分析の基幹をなす分析技法の詳細な記録化のために専門家の知識の逸散を防ぐためにも改正作業の取組みが必要とされる。
- [技能試験]
- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。
- ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 9 回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」

- (2) ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第17回ダイオキシン類分析(ばいじん)」
- (3) ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第11回プラスチック中有害金属成分の分析(有害物質規制/RoHS指令対応)」
- (4) ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第10回食品分析(魚肉ソーセージ)」
- (5) ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第1回放射能分析(牛肉)」

[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質のうち土壌、プラスチック、石炭灰、鉛フリー半田の安定性試験を実施し、保管、管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。

## 5. 関係団体との協力

- (1) 次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。  
日本学術会議、日本化学連合、JABEE/化学分野 JABEE 委員会、(一社)化学情報協会、(公社)新化学技術推進協会グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク・(公社)日本工学会、標準物質協議会、ASIANALYSIS 国際諮問委員会、Asian Analytical Chemistry Network
- (2) 次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。  
(一財)日本規格協会・(一社)日本化学工業協会・独産総研計量標準管理センター・(一社)日本試薬協会・(公社)日本セラミックス協会・(一社)日本環境測定分析協会・(公財)日本適合性認定協会・(一社)日本分析機器工業会

## 6. 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第5条(4))

- (1) 2015年度学会賞を次のとおり授与した。  
大塚 利行 君「油水界面イオン移動の反応解析とイオンセンシングへの展開」  
岡田 哲男 君「新規な特性と機能を持つ分離場の開拓と界面計測への展開」  
馬場 嘉信 君「ナノバイオデバイスの創製と生体分析への展開」
- (2) 2015年度学会功労賞を次のとおり授与した。  
石原 進介 氏「分析計測技術開発のためのコーディネーター活動による学会への貢献」
- (3) 2015年度技術功績賞を次のとおり授与した。  
中山 茂吉 氏「ボルタメトリー還元法による銅腐食生成物の高選択定量法の開発」  
渡辺 光義 氏「セラミックスおよびその原材料の化学分析法の開発と普及」
- (4) 2015年度奨励賞を次のとおり授与した。  
石松 亮一 君「界面イオン移動および電極反応の分析化学的応用」  
植田 郁生 君「針型濃縮デバイスを用いる揮発性有機化合物の分析」  
佐々木直樹 君「演繹的及び構成的アプローチに基づくマイクロバイオ分析デバイスの開発」  
高橋 康史 君「局所的な電気化学計測を実現するナノ電気化学顕微鏡の開発」
- (5) 2015年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。  
JAIMA 機器開発賞  
金 誠培 君「生物発光を用いた分子診断技術の開発と応用」  
玖珠 仁 君・青柳 重夫 君「電気化学計測に基づく受精卵および細胞塊の機能評価装置の開発」  
CERI 評価技術賞  
渡邊 卓朗 君「国際単位系にトレーサブルな有機混合標準物質を迅速に供給する新規校正システムの開発」
- (6) 2015年度有功賞を次のとおり授与した(敬称略)。  
浅木 雄木 松雄 淳二 正木 忍 近藤 敬介  
寺田 恵三 福島 勉 平木 均 村田 伸江  
有田とくみ 家氏 淳 木下 健 山根 和樹  
浜田 光男 大泉 健一 中尾 広幸 寺田 知由  
伊藤 勝 正山 敏之 小浦 弘子 山崎 清一  
永安 弘明 渡邊順一郎 長谷川正勝 永田 昌嗣  
奥野 忠雄 松ヶ角信登 田中 輝彦 大江 博  
中村 貞広 吉良 幸一 山口 一彦 御手洗信幸

小笠原重明 服部 泰生 梶原 清美 高瀬 勝利  
沼田 信博 堀井 悟 小林 誠二 鈴木 義久  
大塚 敏世 橋本 健 田中 浩代 堀田 智行  
小野田健治 渡辺美登里 小林 正己 長谷川 正  
副島 文智

- (7) 2014年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。  
論文題名『同種金属二核錯体系を用いるイオン交換体比色法によるppbレベルの鉄(Ⅲ)イオンの目視閾値判定』  
著者名：水口仁志・篠田靖子・我妻孝佳・高田雅之・志田淳一(山形大院理工)上條利夫(鶴岡高専)  
所載ページ：「分析化学」第63巻第6号、515～523ページ
- (8) 他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

## 7. その他前条の目的を達成するために必要な事業(定款第5条(5))

- (1) 分析士認証事業  
○液体クロマトグラフィー分析士五段・四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。  
○LC/MS分析士五段・四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。  
○イオンクロマトグラフィー分析士三段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- (2) 広報  
広報委員会により本会の活動を記者会見し、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。
- (3) 若手交流会  
分析化学討論会において若手ポスター賞選考とポストシンポジウムを実施した。  
各支部での若手交流会企画を共催および支援し、年会の若手ポスター賞を支援した。
- (4) AACN  
Asian Analytical Chemistry Networkに参加し、そのホームページを運用した。
- (5) 研究懇談会  
研究懇談会活動を次のように行った。  
① 有機微量分析研究懇談会  
【委員長：内山一美(首都大学東京)、委員12名、会員数221名(個人会員215名、顧問6名)】。委員会を2回。第82回有機微量分析研究懇談会、第98回計測自動制御学会力学量計測部会、第32回合同シンポジウムを5月28日～29日、愛媛県松山市(愛媛大学)で開催(計測自動制御学会力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛、愛媛大学後援)し、特別講演2件、口頭発表13件、ポスター発表34件、その他各委員会報告および技術研修会を行った。講演会(第64年会9月9日、九州大学伊都キャンパス、招待講演1件)、第7回マイクロ電子天びん技術研修会(6月19日、理化学研究所)、第8回マイクロ電子天びん技術研修会(1月29日、理化学研究所)および第4回マイクロ電子天びんセミナー(座学)(8月7日、東京大学本郷キャンパス)を開催したほか、会報17号を発行(2月)した。  
② ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
【委員長：前田恒昭(国立研究開発法人産総研)、運営委員会委員45名、会員数101名(個人会員45名、団体会員41機関、名誉会員15名)】。運営委員会を5回開催した。研究会開催数：6回(第336～342回、特別講演会、分析化学討論会にてセパレーションサイエンス特別講演、JAIMAコンファレンスの講習会(GC編とセパレーションサイエンス編)開催、分析年会での講演会を含む)。また第21回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会(7月29～31日麻布大学)を開催した。日中韓シンポジウム2015(釜山・韓国)を支援した。ガスクロマトグラフィー誕生60周年記念事業としてWebページの更新を行った。会員からの情報、アーカイブ、活動報告、過去の講演要旨集等のWEB掲載もしている。  
③ 高分子分析研究懇談会  
【委員長：佐藤信之(東レリサーチセンター)、運営委員会委員15名、会員数138名(個人会員47名、法人会

員91社】。開催数：例会5回（第377～381回）。さらに第50回・第51回高分子分析技術講習会（工学院大学新宿校舎）、第20回高分子分析討論会（10月27、28日つづば国際会議場、29日記念大会見学会）をそれぞれ開催した。

④ X線分析研究懇談会

【委員長：辻 幸一（大阪市立大学）、運営委員32名、参与5名、会員数130名（個人会員数112名、団体会員18名）】。開催数：例会3回（第253～255回）、運営委員会2回。「X線分析の進歩」第46集をアグネ技術センターより出版したほか、第51回X線分析討論会（10月29日～10月30日、西はりま地場産業センター、姫路、参加者168名）を主催し、講習会「粉末X線解析の実際」（7月13～15日、東京理科大学神楽坂校舎）を共催した。本会浅田榮一賞を志岐成友氏（産業技術総合研究所）に授与し、X線分析討論会において4件の学生賞を選考し授与した。

⑤ 分析試薬研究懇談会

【委員長：片山佳樹（九州大学）、運営委員会委員17名、参与委員15名、会員数103名（個人会員100名、賛助会員3名）】。開催数：1回。第64年会において分析試薬研究懇談会（9月10日、九州大学、講演2件）を開催した。また第13回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。

⑥ 溶液界面研究懇談会

【委員長：大塚利行（神戸大学）、運営委員14名、個人会員104名】。開催数：1回。九州大学で開催された第64年会の「界面・微粒子」セッションの中で2件の講演（9月9日）を行った。また「分析化学」誌の特集「新規な分離・検出の場としての溶液界面」（65巻2号および3号）を企画し、運営委員を中心に投稿論文の審査・編集を行った。

⑦ 液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：中村 洋（東京理科大学）、役員会役員の数：41名、会員数：229（個人会委員：159、団体会員：70）】。開催数：12回（第285～296回）。また第16回特別講演会・見学会（6月12日、産総研計量標準総合センター）、第17回特別講演会・見学会（11月5日、国立研究開発法人 水産総合研究センター中央水産研究所）、第21回LCテクノプラザ（2016年1月21～22日、横浜情報文化センター）、LC-DAYS 2015（11月26～27日、テルニューさがみや）、運営委員会総会I（8月3日・4日）、運営委員会総会II（2016年2月2日・3日）を開催した。このほか関東支部主催第56回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」（7月22～24日）、及びJAIMAセミナー「これであなたも専門家」のLC編（9月3日、幕張メッセ）の担当とセパレーションサイエンス編（9月4日、幕張メッセ）を共同担当し、第11回千葉県分析化学交流会（7月16日、日立ハイテクサイエンスサイエンスソリューションラボ東京）を後援した。また本研究懇談会編「LC/MS、LC/MS/MSのメンテナンスとトラブル解決」（オーム社）、「第2回LC分析士三段試験解説書」（日本分析化学会）、「第3回LC分析士二段試験解説書」（日本分析化学会）の実質的な編集・執筆を担当した。

⑧ 化学センサー研究懇談会

【（委員長：鈴木孝治（慶應義塾大学）、運営委員会委員3名、会員数約40名（個人会員約40名））】。研究懇談会企画の講演会として環太平洋国際化学会議2015（Pacifichem 2015）で化学センサー・バイオセンサーの産学国際シンポジウムを行った（12月16、17日、ホノルル・米国）。このシンポジウムには10カ国を超える参加者があり、口頭発表20件およびポスター発表58件を行い盛況であった。また10月22～25日に中国・北京にて行われた北京分析機器展（BCEIA 2015）での国際分析科学会議に協力した。

⑨ 電気泳動分析研究懇談会

【委員長：曾我朋義（慶應義塾大学）、顧問10名、常任委員13名、委員33名】。懇談会演会を1回（9月年会時、福岡）開催したほか、第35回キャピラリー電気泳動シンポジウム（11月、岡山）を開催した。また電気泳動分析懇談会賞として寺部茂賞を設立し、表彰を行っ

た。第2回寺部茂賞は慶應義塾大学曾我朋義教授が受賞した。

⑩ イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：伊藤一明（近畿大学工学部）、運営委員会委員32名、会員数102名（個人会員91名、持会員9社、団体会員2社）】。2015（第12回）日中韓分析化学シンポジウム（10月13～15日、韓国・釜山、GC、HPLC、FIA、環境分析各研究懇談会と共催）、IC講習会（9月4日、JAIMAセミナー8、IC編、幕張メッセ）、IC講演会3回（5月23日、SS編、山梨大学、第75回討論会中；9月4日、JAIMAセミナー11、SS編、幕張メッセGC、HPLC、FIA各研究懇談会と共催）、9月17日、九州大学、第64年会中）、The 8th Asia Pacific Symposium on Ion Analysis（兼第32回IC討論会）（8月31日～9月3日、幕張メッセ）を開催した。運営委員会を2回開催。IC分析士初段・3段認証試験の実施に協力した。「第1回IC分析士初段・二段試験解説書」（日本分析化学会）の実質的な編集・執筆を担当した。

⑪ フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長：今任稔彦（九州大学）、運営委員会委員50名、会員数145名（個人会員122名、賛助会員12名、特別賛助会員11社22口）】。講演会を2回（FIA講演会（11月20日、桐生地域地場産業振興センター）、年会会期中（9月9日、九州大学）、講習会を1回（JAIMAセミナー6「これであなたも専門家一流れ分析編」（9月3日、幕張メッセ国際会議場）を開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行（32巻1、2号）及びそのための編集委員会を2回（5月22日、甲府市と11月20日、桐生市）、また褒賞委員会を1回（年会会期中、9月9日、九州大学）開催した。2015（第12回）日中韓（CJK）分析化学シンポジウム（10月13～14日、韓国・釜山）をGC、LC、FIA、環境分析各研究懇談会と協力支援した。5月23日分析討論会においてIC、GC、LC、FIA各研究懇談会合同でセパレーションサイエンス講演会を開催した。2月1日、福岡市、また褒賞委員会を1回（6月、メール会議）開催した。

⑫ 環境分析研究懇談会

【委員長：角田欣一（群馬大学）、運営委員会委員14名、会員数99名（個人会員93名、グループ会員6名）】。講演会を2回（第26回を9月10日第64年会において、第27回を12月4日武蔵大学において開催した。運営委員会（9月10日第64年会）を1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また2015 CJK Symposium on Analytical Chemistry（10月13日～15日、釜山、韓国）に日本側懇談会メンバーとして参加した。

⑬ 表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長：安井明美（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）、運営委員会委員17名、個人会員100名、団体会員20社】。講演会を2回（第13回：6月30日東京工業大学蔵前会館大会議室、第14回：1月26日柏の葉カンファレンスセンター room4）開催した。9月16日第64年会にて講演会を開催した。運営委員会を2回開催した。

⑭ レアメタル分析研究懇談会

【委員長：小熊幸一（元千葉大学）、運営委員会委員：11名、会員数：20名（個人会員のみのみ）】。9月9日に講演会ならびに運営委員会を第64年会会場（九州大学）にて開催した。

⑮ 熱分析研究懇談会

【委員長：西本右子（神奈川大学）、事務局担当委員2名、個人会員17名、団体会員5社】。講演会を1回（9月11日に第64年会会場において）開催した。JASIS2015における講習会、JAIMAセミナー10「これであなたも専門家—熱分析編（2015年9月4日）」を開催した。JIS分析化学用語（熱分析編）の原案作成委員会に協力。

⑯ 溶液反応化学研究懇談会

【委員長：山口敏男（福岡大学）、運営委員会委員18名、会員数18名（個人会員18名、賛助会員0名）】。講演会ならびに運営委員会を9月9日の分析化学会第64年会（九州大学）で開催した。

⑩ 受託分析研究懇談会

【委員長：中田邦彦（(一財)日本冷凍食品検査協会）、運営委員会委員12名、会員数22名（個人会員14名、賛助会員0名、法人8口）】。第2回総会、第3回セミナーおよび情報交換会（11月17日、島津製作所イベントホール（東京））を開催した。セミナー演題4題。施設見学会（7月14日、警察庁科学警察研究所）を行った。例会（技術情報交換会および運営委員会）を4回開催した。

(6) 支部

2015年度の支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

① 役員を選任

支部長	宇都 正幸	坂入 正敏	板橋 豊
副支部長	久万 健志	石本 裕	小澤 幸男
参 与	菖蒲 明己	大谷 真	関根 敏美
	伊藤 純一	伊藤八十男	嶋津 克明
	片岡 正光	片山 則昭	樽井 敏三
	多賀 光彦	高橋 英明	中野 益男
	中村 博	那須 淑子	長谷部 清
	藤井 清志	松久 喜一	三浦 敏明
	吉田 仁志		横沢 龍朗
監 事	黒澤 隆夫	森田みゆき	
庶務幹事	南 尚嗣	村井 毅	
会計幹事	谷 博文	吉村 昭毅	
幹 事	石田 晃彦	伊藤 慎二	上野 貢生
	大澤 雅俊	大津 直史	奥田 弥生
	加藤 昌子	川口 俊一	菅 正彦
	工藤 英博	蔵崎 正明	齋藤 健
	堺井 亮介	佐々木胤則	神 和夫
	高橋 徹	田中 俊逸	田邊 博義
	千葉 真弘	敦賀 昇	渡慶次 学
	豊田 和弘	中田 耕	中谷 暢丈
	西村 一彦	平間 祐志	福嶋 正巳
	古崎 睦	松井 宏之	諸角 達也
	叶 深		山田 幸司

② 研究発表会

- 1) 夏季研究発表会（共催）：7月18日、北海道教育大学函館校で開催、一般講演130件、特別講演2件（参加者231名）。また五島軒にて懇親会を行った。
- 2) 化学教育研究協議会（共催）：11月7日、北海道大学大学院地球環境科学研究院で開催、講演1件、分析化学若手教育研究者による話題提供、自由討論、懇親会を行った（参加者88名）。
- 3) 冬季研究発表会（共催）：1月19-20日、北海道大学フロンティア応用科学研究棟で開催、研究発表194件、特別講演1件（参加者437名）。また懇親会を行った（参加者63名）。

③ セミナー

- 1) 第31回分析化学緑陰セミナー：6月27-28日、十勝川国際ホテル筒井にて開催、講演4件、ポスター講演20件、懇親会を行った（参加者52名）。
- 2) 特別公開シンポジウム（公開セミナー）：7月27日、北見工業大学、講演1件（参加者74名）
- 3) 第51回氷雪セミナー：1月10-11日、札幌北広島クラッセホテルで開催、講演3件、懇親会を行った（参加者31名）。

④ 交流事業

若手の会交流会：九州支部開催の緑陰セミナーに、若手研究者（1名）を派遣した。

⑤ 支部ニュースの発行

北海道支部ニュース第51号、第52号を発行した。

【東北支部】

① 役員を選任

支部長	末永 智一		
次期支部長			
副支部長	猿渡 英之	岩田 吉弘	
参 与	秋葉 健一	阿部 重喜	石井 一
	宇野原信行	大関 邦夫	大類 洋
	長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一
	佐藤 允美	鈴木 信男	玉木 洋一
	広川吉之助	山崎 慎一	四ツ柳隆夫
監 事	我妻 和明	佐藤 健二	

庶務幹事	柏倉 俊介		
会計幹事	伊野 浩介		
幹 事	赤坂 和昭	安斉 順一	壹岐 伸彦
	石川大太郎	井上 久美	伊藤 徹二
	遠藤 昌敏	大野 賢一	大橋 弘範
	小川 信明	押手 茂克	柏倉 俊介
	菊地 洋一	北川 文彦	北爪 英一
	佐藤 勝彦	佐藤 雄介	珠玖 仁
	高具 慶隆	高橋 成周	鶴岡 博章
	照井 教文	中川 清隆	中川 公一
	中山 健一	西澤 精一	西澤 松彦
	橋本 幹雄	平野 愛弓	平山 和雄
	福村 裕史	藤村 務	星 友典
	細野 長悦	升谷 敦子	松永 英之
	村本 光二	盛田 伸一	八木 芳夫
	我妻 和明	和久井喜人	渡辺 忠一

② 研究発表会

- 1) 平成27年度化学系学協会東北大会（日本化学会東北支部が主催し、日本分析化学会東北支部は共催）：9月12-13日、弘前大学文京キャンパスにて開催された。337件の講演があり、555名の参加があった。
- 3) セミナー（主催）
  - 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2015：3月7日、東北大学金属材料研究所にて開催した。招待講演2件が行われ、54名の参加があった。
  - 2) 平成26年度東北支部若手交流会：7月17-18日、福島市・バルセいいざかにて開催した。依頼講演2件、招待講演5件、ポスター講演12件を行い、43名の参加があった。
  - 3) みちのく分析科学シンポジウム2015：11月13日、東北大学青葉山東キャンパスにて開催した。招待講演15件、ポスター講演13件が行われ、のべ84名の参加があった。
  - 4) バイオアナリシス2014：11月8日、東北大学大学院薬学研究科にて開催した。招待講演2件が行われ、34名の参加があった。

④ セミナー等共催事業

- 1) 第13回ホスト・ゲスト化学シンポジウム（主催はホスト・ゲスト・超分子化学研究会）：6月6-7日、東北大学川内北キャンパスにて開催された。

【関東支部】

① 役員を選任

支部長	宮村 一夫		
副支部長	金澤 秀子	五十嵐淑郎	鈴木 康志
参 与	望月 直樹		
	小熊 幸一	赤岩 英夫	梅澤 喜夫
	酒井 馨	大橋弘三郎	楠 文代
	杉谷 嘉則	澤田 清	渋川 雅美
	角田 欣一	高田 芳矩	高村喜代子
	二瓶 好正	中澤 裕之	中村 洋
	保母 敏行	平井 昭司	不破敬一郎
	山根 兵	前田 瑞夫	矢野 良子
監 事	綿拔 邦彦		
常任幹事	中込 和哉	西垣 敦子	
	青木 寛	井上 達也	上野 祐子
	上原 伸夫	梅村 知也	加藤 大
	川原 正博	国村 伸祐	斉藤 和憲
	敷野 修	下村 博志	鈴木 保任
	津越 敬寿	並木 健二	野村 文子
	本田 俊哉	森 勝伸	林 英男
	安田 純子	山本 博之	由井 宏治
支部幹事	相本 道宏	岩崎 雄介	石川 隆一
	梅香 明子	片山 建二	勝田 正一
	坂元 秀之	佐々木直樹	豊田 太郎
	山崎 伸彦		

② 研究発表会

第29回新潟地区部会研究発表会：9月18日（金）、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」において開催、特別講演2件、一般講演6件、情報交換会を行った。

③ 講習会

- 1) 第57回機器分析講習会：第1コース、10月1-2日、第2コース、7月22-24日、第3コース、11月5-6日、第4コース、1月21-22日、アジレントテク

ノロジー、慶應義塾大学、島津製作所、日立ハイテクサイエンスで開催した。

- 2) 第25・26回分析化学基礎実習講座：8月26～28日、東京理科大学、2月18～29日、パーキンエルマージャパンで各々開催した。

④ 講演会

- 1) 第12回茨城地区分析技術交流会：12月5日(金)、いばらぎ量子ビーム研究センターにおいて開催、特別講演3件、ポスターセッション及び情報交換会を行った。

⑤ セミナー

- 1) 27年度日本分析化学会関東支部若手交流会は：6月26日(金)～27日(土)、「晴海グランドホテル」において開催

- 2) 新世紀賞・(新人賞)講演会・新年交流会：1月7日、秋葉原ダイビル18階朝日製作所において開催。

⑥ 各県分析化学交流会

- 1) 第11回千葉県分析化学交流会：7月18日、朝日日立ハイテクサイエンスにおいて開催

⑦ 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第26号を発行した。

⑧ 関東支部60周年記念事業

11月9日(月)記念式典・講演会・懇親会を工学院新宿校舎(懇親会は周辺会場)にて開催され参加者142名。記念式典において感謝状贈呈(表彰企業31社(内、特別表彰4社)および特別表彰個人2名)した。講演会4件。

⑨ 第75回分析化学討論会

5月23日(土)～5月24日(日)山梨大学甲府キャンパスにて開催。参加者620名(依頼講演含む)・発表件数372件

【中部支部】

① 役員を選任

支 部 長	手嶋 紀雄				
次期支部長	小谷 明				
副支部長	片野 肇	栗原 誠			
顧 問	板谷 芳吉	上田 一正	上田 穰一		
木羽 敏泰	酒井 忠雄	佐々木 志実	鈴木 正巳		
柘植 新	寺田喜久雄	中村 俊夫	野村 俊明		
原 稔	舟橋 重信	本浄 高治	三輪 智夫		
村田 旭	山寺 秀雄				
参 与	太田 清久	北川 邦行	田口 茂		
竹内 豊英	永長 秀一	早川 和一	樋上 照男		
平出 正孝	山田 真吉	湯地 昭夫			
監 事	井村 久則	大谷 肇			
庶務幹事	村上 博哉				
会計幹事	松宮 弘明				
常任幹事	太田 一徳	小川 数馬	甲斐 穂高		
加地 範匡	金 継業	高田 主岳	平 修		
牧 輝弥	間中 淳	安井 隆雄	リムリーワ		
幹 事	伊藤 雅章	江坂 幸宏	大橋 芳明		
奥山 修司	香川 信之	加賀谷重浩	勝又 英之		
金子 聡	金子美智代	儀賀 義勝	北出 和久		
倉光 英樹	高藤 彰良	篠原 直行	妹尾 健吾		
瀬戸 邦匡	齊木 秀夫	高橋 透	高山 勝己		
巽 広輔	田中 智一	田中 勉	柘植 明		
轟木堅一郎	永谷 広久	丹羽 啓誌	長谷川 浩		
服部 寛和	東 由記雄	藤島夕喜代	藤原 正之		
安井 孝志	山形 茂	四津 佳伸			

② 研究発表会

- 1) 第46回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(特別討論会)：11月7～8日、三重大学、招待講演2件、依頼講演4件、一般講演14件を行った(参加者76名)。

③ 講演会

- 1) 北陸地区講演会：7月3日、福井大学文京キャンパスで開催、講演3件を行った(参加者115名)。  
2) 静岡地区講演会：9月28日、静岡県立大学で開催、講演3件を行った(参加者61名)。  
3) 愛知地区講演会：8月5日、愛知工業大学本山キャンパスで講習会と併せて開催、講演3件を行った(参加者32名)。

④ 講習会

- 1) 第25回基礎及び最新の分析化学講習会：8月4～5日、愛知工業大学本山キャンパスで開催、講義7件を

行った(参加者76名)。

⑤ セミナー

- 1) 第34回分析化学中部夏期セミナー：8月31日～9月1日、三保園ホテルで開催、受賞講演2件、招待講演1件、ポスドク・プレドク講演4件、新製品紹介講演2件、ポスター講演41件を行った(参加者80名)。

- 2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第15回高山フォーラム：11月13～14日、高山市図書館お宿山久で開催、基調講演1件、グループワーク討論、ポスター発表67件を行った(参加者84名)。

【近畿支部】

① 役員を選任

支 部 長	前田 耕治				
副支部長	辻 幸一	村松 康司			
庶務幹事	西 直哉	久保 拓也			
会計幹事	森内 隆代	丸尾 雅啓			
参 与	池田 重良	池田 篤治	池田 昌彦		
市村 彰男	大井 尚文	岡 正太郎	小川 禎一郎		
垣内 隆	木原 壯林	木村 恵一	木村 昌憲		
日下 謙	小島 次雄	佐伯 正夫	佐藤 昌憲		
千田 貢	田中 信男	田中 久	田中 稔		
谷口 一雄	千熊 正彦	辻 治雄	寺部 茂		
中川 照真	中原 武利	藤田 芳一	藤原 英明		
穂積啓一郎	堀 智孝	増田 嘉孝	松井 正和		
松下 隆之	八尾 俊男	渡辺 達郎	渡辺 仁		
常任幹事	上原 章寛	遠藤 達郎	岡本 昌彦		
川崎 英也	北隅 優希	高原 晃里	谷口 理		
長谷川 健	堀田 弘樹	安川 智之	森澤 勇介		
森田 成昭	山本 茂樹				
幹 事	浅川 大地	荒川 隆一	飯田 琢也		
石井 裕子	石切山一彦	石田 正登	石濱 泰		
岩月 聡史	岩本 仁志	上田 啓太	宇田 亮子		
梅谷 重夫	大石 晴樹	大内 幹雄	大塚 利行		
大塚 浩二	岡林 義人	岡本 行広	尾崎 幸洋		
尾関 徹	小堤 和彦	小山 孝孝	糟野 潤		
門 晋平	加納 健司	柄谷 肇	河合 潤		
川井 隆之	河田 聡	河野 宏彰	河元 達彦		
菊地 和也	北出 達也	木村 敦臣	紀本 岳志		
久保田直哉	久保 楚公二	熊谷 哲	倉内 奈美		
小池 亮	小畑 俊嗣	小林 典裕	齊藤 惠逸		
坂本 英文	作花 哲夫	佐々木 健次	佐々木 隆之		
佐藤 幸史	椎木 弘	澁谷 康彦	下山 昌彦		
白井 卓理	末吉 健志	杉原 康康	杉山 雅人		
鈴江 崇彦	鈴木 茂生	鈴木 哲仁	諏訪 雅頼		
宗林 由樹	高木 達也	高橋 弘樹	瀧川 宏司		
高山 透	竹田さほり	田中 陽	民谷 栄一		
千葉 光一	茶山 健二	塚越 一彦	塚原 聡		
都築 英明	角井 伸次	壺井 基裕	坪井 泰之		
土井 光暢	床波 志保	豊田 岐聡	永井 秀典		
長岡 勉	中口 譲	中澤 隆	中島 陽一		
中田 靖	中西 和樹	中原 佳夫	中林 安雄		
中山 茂吉	西野 智昭	野村 聡	萩中 淳		
橋本 紅良	張野 宏也	東 昇	久本 秀明		
藤居 義和	藤嶽 英	藤森 啓一	藤原 学		
細矢 憲	前田 初男	松尾 修司	松本 明弘		
三木功次郎	水谷 文雄	三田村邦子	三戸彩絵子		
三野 芳紀	宮道 隆	向井 浩	村上 正裕		
矢坂 裕太	矢嶋 摂子	山垣 亮	山口 敬子		
山崎 秀夫	山田 悦	山田 隆	山本 雅博		
横井 邦彦	吉田 裕美	米倉 忠史	和田 豊仁		

② 講演会

- 1) 第10回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3月9日、大阪科学技術センターで開催、表彰・受賞講演1件を行った。  
2) 第1回支部講演会：4月10日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。  
3) 第35回石橋雅義先生記念講演会(共催)：4月25日、京都大学楽友会館で開催、講演2件を行った。  
4) 第2回支部講演会：12月11日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。

③ 講習会

- 1) ぶんせき講習会・基礎編その1：5月8日、大阪市立大学文化交流センターで開催、講演5件を行った(受

講師 53 名)。

- 2) ぶんせき講習会・基礎編その 2：6 月 26 日，(株)堀場製作所で開催，講演 3 件と実習を行った(受講者 23 名)。
  - 3) ぶんせき講習会・実践編 (第 62 回機器による分析化学講習会)：7 月 24 日，(株)島津製作所で開催，講義 2 件と実習を行った(受講者 25 名)。
  - 4) ぶんせき講習会・発展編：11 月 20 日，兵庫県立大学放射光施設ニュースバルで開催，講義 2 件と見学実習を行った(受講者 11 名)。
- ④ セミナー
- 1) 第 9 回平成夏期セミナー (ぶんせき秘帖)：8 月 1～2 日，アクティブラザ琵琶湖で開催，講演 3 件，ポスターセッションを行った(参加者 81 名)。
  - 2) 第 1 回提案公募型セミナー：11 月 7 日，大阪大学豊中キャンパスで開催，講演 7 件を行った(参加者 12 名)。
- ⑤ 支部ニュースを 3 回発行した。

【中国四国支部】

① 役員の内任

支部長	田中 秀治				
次期支部長	金田 隆				
副支部長	吉屋 晴夫				
事務局長	早川慎二郎				
支部参与	池田 早苗	今井 嘉彦	岩知道 正		
	大島 光子	奥村 稔	小倉興太郎	木ト 光夫	
	木曾 義之	熊丸 尚宏	下村 滋	善木 道雄	
	田頭 昭二	竹味 弘勝	出口 正一	中野 惠文	
	林 康久	平田 静子	廣川 健	升島 努	
	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	
	森田 秀芳	山崎 恒博			
支部監事	若林 茂夫	北條 正司			
庶務幹事	竹内 政樹	岡本 泰明	武安 伸幸		
石坂 昌司					
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	朝日 剛	石徳 武	泉 雅典		
	伊藤 一明	今井 昭二	受田 浩之	内嶋 茂	
	岡 秀行	紙谷 浩	北出 哲朗	京野 一章	
	児玉 竜二	佐々木 繁	島田 健	清家 泰	
	高柳 俊夫	田中 俊行	中山 雅晴	名郷 洋信	
	西 博行	引野 健治	藤原 薫	藤原 照文	
	村上 良子	藪谷 智規	山岡 和則	横山 崇	
	和田 修治				
支部幹事	浅野 比	新名 龍彦	一色 健司		
	井上 裕文	榎本 秀一	尾上 晃一	片岡 洋行	
	勝 孝	川村 邦男	島崎 洋次	谷村 俊史	
	永阪 文惣	中田 健一	難波 亨	樋口 浩一	
	廣澤 礼文	藤原 勇	淵脇 雄介	宝来 佐和子	
	前川 達治	森本 孝	門木 秀幸	山崎 重雄	
	山下 浩	山本 稔	横田 宣夫	吉岡 徹	
	吉田 祐一	吉本 誠			

② 研究発表会

- 1) 第 38 回溶液化学シンポジウム (共催)：2015 年 10 月 21 日 (水)～23 日 (金)カルポート (高知市文化プラザ，高知市)で開催。実行委員長 北條正司氏 (高知大理)。(参加者 150 名)。
- 2) 第 35 回キャピラリー電気泳動シンポジウム (共催)：2015 年 11 月 4 日 (水)～6 日 (金)岡山大学創立五十周年記念館 (岡山市)で開催。実行委員長 金田隆氏 (岡山大院自然科学) (参加者 76 名)。

③ 講演会

- 1) 岡山地区講演会 (岡山地区分析技術懇談会と共催)：2015 年 3 月 5 日 (木)，岡山大学にて開催。招待講演 1 件，研究紹介 8 件 (参加者 47 名)。
- 2) 広島地区講演会 (広島地区分析技術研究会と共催)：2015 年 3 月 18 日 (水)，広島大学にて開催。一般講演 2 件と依頼講演 3 件を行った (参加者 31 名)。
- 3) 周南地区講演会 (周南コンビナート分析研究会と共催)：2015 年 12 月 11 日 (金)，東ソークラブにて開催。依頼公演 3 件を行った。参加者 42 名)。
- 4) 宇部地区講演会 (宇部地区分析技術研究会と共催)：2015 年 1 月 19 日 (火)，山口大学常盤キャンパスにて開催。依頼講演 3 件を行った (参加者 38 名)。
- 5) 愛媛地区講演会 (愛媛地区分析技術懇談会と共催)：2015 年度は開催せず。

- 6) 徳島地区講演会 (徳島地区分析技術研究会，徳島化学工学懇話会と共催)：2016 年 1 月 29 日 (金)，徳島大学にて開催。依頼講演 2 件と学生の研究発表 2 件を行った (参加者 46 名)。
- 7) 鳥取地区講演会 (鳥取総合分析研究懇談会と共催)：2016 年 1 月 23 日 (土)，鳥取大学にて開催。依頼講演 2 件と定年退職記念講演 1 件を行った (参加者 111 名)。
- 8) 島根地区講演会 (島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催)：2015 年度は開催せず。
- 9) 高知地区講演会 (高知地区分析技術懇談会と共催)：2015 年 12 月 12 日 (土)，高知大学総合研究棟にて開催。依頼講演 2 件を行った (参加者 35 名)。
- 10) 外国人学者講演会：2015 年 10 月 28 日 (水)，K. Janssens 教授 (アントワープ大)，徳島大学で開催 (参加者 11 名)

④ 講習会

第 52 回分析化学講習会：2015 年 8 月 10 日 (月)，11 日 (火)，広島大学理学部にて開催。「安全・安心を支える分析化学と最新計測技術」の主題で，特別講演 3 件，講義 7 件，ランチョンセミナー 2 件，実習 12 種類および情報交換会を行った (実習生 38 名)。

⑤ セミナー

第 21 回中国四国支部分析化学若手セミナー：2015 年 7 月 18 日 (土)，19 日 (日)，UA ゼンセン中央教育センター友愛の丘 (岡山県岡山市) で開催。依頼講演 3 件ポスター，発表 22 件および情報交換会を行った (参加者 51 名)。

【九州支部】

① 役員の内任

支部長	肥後 盛秀				
次期支部長	竹中 繁織				
副支部長	木下 将和	財津 慎一			
参与	飯盛喜代春	石黒 慎一	岩崎 正武		
	大森 保	鎌田 薩男	合屋周次郎	小林 宏	
	財津 潔	城 昭典	高館 明	竹田津富次	
	田端 正明	出口 俊雄	増田 義人	松本 清	
監査	佐藤 正雄	松井 利郎			
庶務幹事	満塩 勝				
会計幹事	中島 常憲				
常任幹事	新垣 雄光	井倉 則之	大島 達也		
	甲斐 雅亮	川上 健次	河津 博文	黒木 広明	
	塩路 幸生	西田 正志	原田 雅章	松田 直樹	
	松森 信明	森 健			
幹事	安藤 功	池上 天	石岡 寿雄		
	石川 洋哉	石田 雄士	井上 高教	井原 敏博	
	今坂藤太郎	今任 稔彦	岩永 達人	宇都宮 聡	
	内海 英雄	大浦 博樹	大木 章	王子田彰夫	
	大渡 啓介	大庭 義史	大平 慎一	岡上 吉広	
	落合 宏寿	尾本 憲昭	片山 佳樹	加藤 祐子	
	梶島 力	梶島 正美	神崎 亮	岸川 直哉	
	喜納 兼勇	蔵脇 淳一	栗崎 敏	栗原 龍	
	黒田 直敬	呉 行正	児玉谷 仁	笹木 圭子	
	佐藤しのぶ	佐藤 博	澤津橋徹哉	柴田 孝之	
	下田 満哉	白土 英樹	末田 慎二	宗 伸明	
	高橋 浩司	高椋 利幸	田口 博幸	竹原 公	
	田中 充	谷口 功	戸田 敬	富安 卓滋	
	長澤 満明	中島憲一郎	中嶋 直敏	中島 俊男	
	中園 学	中武 貞文	中野 幸二	中山 守雄	
	新留 康郎	二村 和孝	能田 均	野口 英行	
	野間 誠司	馬場 由成	浜瀬 健司	原口 浩一	
	原田 明	前田 明広	増田 寿伸	又吉 直子	
	松岡 信明	松田 賢士	松野 康二	満尾 良弘	
	村田 正治	安田みどり	柳 雅之	藪下 彰啓	
	山口 敏男	山口 英敬	山口 政俊	山田 淳	
	横山 拓史	吉塚 和治	吉田 亨次	吉田 秀幸	
	吉田 祐一	吉留 俊史	吉村 和久	脇田 久伸	
	和田 光弘				

② 研究発表会

- 1) 第 52 回化学関連支部合同九州大会 (共催)：6 月 27 日，北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表 5 件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。
- 2) 第 28 回バイオメディカル分析科学シンポジウム

(BMAS2015) (共催) : 8月21日~22日, 長崎大学文  
教キャンパスで開催。

- ③ 講演会
- 1) 第28回九州分析化学若手の会・春の講演会(主催):  
5月16日, 九州大学筑紫キャンパス 筑紫ホールで開  
催。
  - 2) 機器分析ワークショップ(主催):7月7日(三菱重  
工株式会社), 11月13日(京セラ株式会社), 1月26  
日(鹿児島大学)で開催。
  - 3) 九州支部講演会・見学会(主催):11月20日, 京セ  
ラ株式会社 鹿児島国分工場で開催。
  - 4) 「鹿児島の金資源2015 (Project Gold 2015)」講演会  
(共催):2月12日, 鹿児島大学郡元キャンパスで開催
- ④ 講習会
- 1) 第56回分析化学講習会(主催):8月5~7日, 九州  
大学伊都キャンパスで開催。
- ⑤ セミナー
- 1) 第33回九州分析化学若手の会・夏季セミナー(主  
催):7月24日~25日, 亀屋ホテル華椿で開催。優秀  
ポスター発表7件を「九州分析化学若手賞」として表  
彰。
- ⑥ 支部ニュース
- 支部ニュース第32号(8月)及び第33号(3月)を発  
行。

## 平成28年度事業計画書

(平成28年3月1日~平成29年2月28日)

### 1. 定時総会の開催(定款第17条)

第5回定時総会を下記のとおり行う。

日時 平成28年5月19日(木)13時30分より

場所 アリアル五反田駅前会議室(東京都品川区西五反  
田1-2-9) 参加予定者数150人。

### 2. 会誌, 研究報告および資料の刊行(定款第5条(1))

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2016年第3号~2017年第2号 毎月1回, 5日に発行  
(各号A4判, 100ページ)。

発行部数6500

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第65巻第3号~第66巻第2号を毎月1回, 5日に発行  
(各号A4判, 70ページ)。

発行部数2100

③英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行す  
る。

Vol. 32, No. 3~Vol. 33, No. 2を毎月1回, 10日に発行  
(各号A4判, 140ページ)。

発行部数640

④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のと  
おり発行する。

Vol. 32, No. 3~Vol. 33, No. 2を毎月1回発行(webのみ  
による無料公開)。

⑤メールマガジンを発行する。

⑥「試料分析講座」(丸善)「分析士試験問題の解説」(本会)  
等の書籍を出版する。

### 3. 講演会, 講習会および研究会の開催(定款第5条(2))

各支部ならびに懇談会が主催するものは別に記載する。

①研究発表会

※第76回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時:平成28年5月28日(土)・29日(日)

場所:岐阜薬科大学・岐阜大学(岐阜市)参加予定者数  
800, 演題数500

分析化学討論会において産業界交流ポスターを行う予定。

※第65年会を下記のとおり行う。

日時:平成28年9月14日(水)~16日(金)

場所:北海道大学工学部(札幌市)参加予定者数1300  
人 演題数800

“3rd Asian Symposium on Analytical Sciences”を行う  
予定。

また「産業界における分析化学ソリューション」に関す  
るシンポジウムを行う予定。

②講習会 参加予定者数:合計500名

予定テーマ

水中の微量金属成分分析講習会

金属分析技術セミナー

ダイオキシン類分析技術セミナー

セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー

有害物質規制(RoHS, REACH, WEEEなど)に対応  
する化学分析技術セミナー

分析化学基礎セミナー(無機分析編)

分析化学の基本と安全セミナー

分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー

### 4. 調査, 研究および建議(定款第5条(3))

①JIS

日本規格協会の公募案件が受諾され下記の制定を行う。

・分析化学用語(熱分析部門)

②技能試験

参加予定試験所数:合計280試験所

ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

・ダイオキシン類成分分析 70試験所

・プラスチック中有害金属成分の分析 70試験所

・トレーサビリティと不確かさ理解のための

分析技能試験 20試験所

・食品分析技能試験 40試験所

・放射能分析技能試験 60試験所

・残留農薬分析技能試験 20試験所

③標準物質

これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を  
継続して実施する。そのために在庫切れ品の補給と安定性  
試験を行う。

・在庫切れ品の補給:河川水標準物質

・安定性試験:プラスチック, ダイオキシン(土壌, 模  
擬排水), 河川水 各標準物質

④教育用DVD

・現在頒布中の教育用ビデオを発展させたDVD教材の開発  
のために作業を行う。

### 5. 研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条(4))

①学会賞, 学会功労賞, 技術功績賞, 奨励賞, 有功賞, 「分  
析化学」論文賞ならびに先端分析技術賞を下記のとおり  
表彰する。

学会賞(3名以内), 学会功労賞(5名以内), 技術功績  
賞(3名以内), 奨励賞(5名以内), 有功賞(50名程度),

「分析化学」論文賞(1名)

先端分析技術賞(3名以内)

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者と  
して推薦する。

### 6. その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条(5))

①分析士認証試験を次のとおり行う。

液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段~五段の  
各段位

LC/MS分析士認証試験 初段~五段の各段位

イオンクロマトグラフィー分析士 初段, 二段, 四段

②分析士会を開催して講演会等の活動を行う。

③アジアの分析化学者との連携をはかるために Asian Ana-  
lytical Chemistry Network のホームページを運用する。

④本会の活動ならびに学術・技術の重要性をホームページ, 各  
種展示, 冊子の発行, 記者会見, 展示などを通じて広報す  
る。

⑤若手交流会の活動を次のとおり行う。

各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。

分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行  
う。

### 7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

委員会を2回, 第83回有機微量分析研究懇談会シンポジ  
ウム(計測自動制御学会・力学量計測部会と共催, 日本分  
析化学会, 日本化学会, 日本薬学会協賛)を5月に岩手  
県盛岡市(いわて県民情報交流センター及び岩手大学工学  
部復興祈念銀河ホール), 講演会(第65年会会期中), 第

- 9・10回マイクロ電子びん技術研修会、および第5回マイクロ電子びんセミナー(座学)を開催するほか、会報第18号(2017年2月)を発行する。
- ②ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
例会を数回、特別講演会、講習会(実習付含む)を開催する。例会の中で基礎講座を開催する(受講証を発行)。地方での研究懇談会活動を行う。分析化学討論会・年会で特別講演会を開催する。日中韓シンポジウムの開催(中国)にLC、IC、FIA、環境分析各研究懇談会と協力する。JAIMAコンファレンスで講習会・講演会を実施する。ガスクロマトグラフィー誕生60周年事業としてアーカイブを作成する。講習会用テキストを整備する。研究懇談会活動の過去ログ、講演会資料等をホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。
- ③高分子分析研究懇談会  
例会を6回、高分子分析技術講習会を2回、第21回高分子分析討論会の開催。
- ④X線分析研究懇談会  
例会を数回、第52回X線分析討論会、X線分析講習会(蛍光X線分析の実際)を開催するほか「X線分析の進歩」誌(47集)を出版する。運営委員会は2回開催する。
- ⑤分析試薬研究懇談会  
第65年会での講演会と幹事会および第14回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(共催:高知城ホール、6月)での招待講演を開催する。
- ⑥溶液界面研究懇談会  
講演会、懇談会を各1回(第65年会会期中)開催するほか、メールによる情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるよう年会実行委員会への働きかけを行う。2016年度の分析化学誌の研究懇談会特集「新規な分離・検出の場としての溶液界面」の準備を進める。
- ⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会  
運営委員会を11回、例会を12回(うち1回は年会時に開催)、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、第22回LCテクノプラザ、LC-DAYS 2016を開催する。関東支部機器分析講習会第2コース「HPLCとLC/MSの基礎と実践」、JAIMAセミナーにおけるHPLC講習会などを支援する。「第1回LC/MS分析士三段試験解説書」、「第2回LC/MS分析士二段試験解説書」の各出版に向け、それぞれ2日間の査読会を実施する。
- ⑧化学センサー研究懇談会  
懇談会講演会(9月、分析化学会年会期間中)を開催するほか、他の学協会と共同で化学センサー・バイオセンサー関連シンポジウムを開催する。またセンサーに関する案内や資料を随時配付する。
- ⑨電気泳動分析研究懇談会  
講演会を1回(分析化学会年会期間中)開催するほか、第36回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE 2016)(11月、徳島)を開催する。電気泳動分析研究懇談会賞(寺部茂賞)の選考を行う。またシンポジウムの要旨集アーカイブのホームページ上での公開を進める。
- ⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会  
IC講習会、SS講演会(9月、JAIMA)、IC講演会(9月、第65年会、北海道大学)、日中韓分析化学シンポジウム(中国)にGC、HPLC、FIA、環境分析各研究懇談会と協力する。第33回IC討論会を予定。運営委員会を3回開催予定。IC分析士認証試験(初段、2段、4段)の実施を予定。
- ⑪フローインジェクション分析研究懇談会  
第53回FIA講演会(11月、同志社大学)を開催する。褒賞委員会を第65年会(9月、北海道大学)会期中に開催する。第76回分析化学討論会(5月、岐阜薬科大・岐阜大学)および第53回FIA講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を開催するほか、第53回FIA講演会中にFIA委員会を開催する。JFIA誌を2回(6月、12月)発行する。20th International Conference on Flow Injection Analysis(10月、スペイン)の共催を行う。JAIMAセミナー(9月、幕張メッセ国際会議場予定)において「これであなたも専門家-流れ分析編」に共催する。日中韓分析化学シンポジウム(GC、HPLC、IC、環境分析研と協力し10月、武夷・中国)開催に協力する。

- ⑫環境分析研究懇談会  
講演会を3回(6月、第65年会会期中、11月)、幹事会(第65年会会期中)を1回開催する。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。
- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会  
講演会を3回(第65年会会期中および年度前半・後半)、運営委員会を2回開催する。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会  
講演会を2回(6月および第65年会中)、運営委員会を1回(第65年会中)開催する。また必要に応じ他の研究懇談会との共催で講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑮熱分析研究懇談会  
講演会を2回(9月、第65年会会期中および12月)開催予定。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。分析化学用語(熱分析)JIS原案作成に取り組む。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会  
委員長氏名と所属:山口敏男(福岡大学)  
運営委員会委員数:27名(個人会員27名)  
講演会を1回と懇談会を1回(いずれも日本分析化学会第65年会中)開催する。溶液化学シンポジウム(11月、つくば)を共催する。メーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑰受託分析研究懇談会  
総会とセミナー(11月)および見学会(6月)を各1回行うほか、例会(技術情報交換会および運営委員会)を3回開催する。他の研究懇談会等とも交流を深めるとともに、会員間の情報交換を活発に行い、会員拡充を図る。

## 8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

### 【北海道支部】

- ① 夏季研究発表会(7月)、冬季研究発表会(1月下旬)を開催する。
- ② 化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
- ③ 第32回分析化学緑陰セミナー(6月)、公開セミナー(9月)、第52回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。
- ④ 支部ニュース(7月、12月)を発行する。

### 【東北支部】

- ① 研究発表会:みちのく分析科学国際シンポジウム2016、平成28年度化学系学協会東北大会
- ② 講演会:分析化学と化学分析の青森フォーラム2016(青森地区講演会)、各地区講演会
- ③ セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2016、第17回機能構造と分析化学シンポジウム、第33回無機・分析化学コロキウム、平成28年度日本分析化学会東北支部若手交流会、パイオアナリシス2016

### 【関東支部】

- ① 講習会:第57回機器分析講習会、分析化学基礎実習講座を開催する。
- ② 講演会:新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、新世紀賞講演会、新年交流会のほか随時開催する。
- ③ セミナー:分析化学若手交流会のほか随時開催する。
- ④ 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。

### 【中部支部】

- ① 研究発表会:第47回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月、豊橋技術科学大学)共催の予定。
- ② 講演会:愛知・三重・富山の地区講演会、および研究者招聘講演会の開催を予定。
- ③ 講習会:第26回基礎および最新の分析化学講習会を開催の予定。
- ④ セミナー:第35回分析化学中部夏期セミナー(9月3日・9月4日、福井市)、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第16回高山フォーラム(11月11日・12日、高山市図書館)を開催予定。

### 【近畿支部】

- ① 講演会:支部講演会(4月、12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催予定。
- ② 講習会:ぶんせき講習会・基礎編(5月、6月)、同・実践編(第63回機器による分析化学講習会)(7月)、同・発展編(11月)を開催の予定。
- ③ セミナー:提案公募型事業(随時)、第10回平成夏期

セミナー「ぶんせき秘帖」(7月龍野市)

④ 支部ニュースの発行(随時)

【中国四国支部】

- ① 講演会：岡山・広島・周南・山口・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会，外国人学者講演会を開催の予定。
- ② 講習会：第53回分析化学講習会(8月18日・19日，山口)を開催の予定。
- ③ セミナー：第22回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月または8月，島根)を開催の予定。

【九州支部】

- ① 研究発表会：第53回化学関連支部合同九州大会(7月)

を開催の予定。

- ② 講演会：第29回春の研究講演会(5月)，第34回夏季セミナー(7月)，支部講演会・見学会(11月)のほか，機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
- ③ 講習会：第57回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
- ④ 日本分析化学会九州支部創立60周年記念会(11月)を開催の予定。
- ⑤ その他：地区懇話会，支部ニュースの発行などを行う予定。

平成 27 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	149,105,379	96,065,436	53,039,943
売掛金	2,464,236	4,872,312	△2,408,076
未収金	4,713,382	5,995,044	△1,281,662
棚卸資産	0	133,957	△133,957
貯蔵品	26,555,722	26,371,006	184,716
一年以内回収予定長期貸付金	123,885	72,672	51,213
前払金	199,920	199,920	0
仮払金	4,673,785	6,085,560	△1,411,775
	961,975	78,775	883,200
流動資産合計	188,798,284	139,874,682	48,923,602
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
基本財産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,267,376	66,273,151	△64,005,775
標準物質開発基金	34,770,494	64,743,000	△29,972,506
分析技術教育基金	12,980,270	12,971,675	8,595
国際交流事業基金	20,643,206	20,639,075	4,131
分析化学研究奨励基金	8,374,654	8,372,563	2,091
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	22,741,057	27,537,937	△4,796,880
特定資産合計	112,777,057	211,537,401	△98,760,344
(3) その他固定資産			
建物	11,793,563	14,788,589	△2,995,026
器具備	83,588	130,138	△46,550
土地	30,607,799	49,172,915	△18,565,116
商標	98,446	173,286	△74,840
ソフトウェア	0	711,047	△711,047
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	2,327,640	2,527,560	△199,920
その他固定資産合計	45,039,036	67,631,535	△22,592,499
固定資産合計	167,816,093	289,168,936	△121,352,843
資産合計	356,614,377	429,043,618	△72,429,241
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	9,666,505	12,209,029	△2,542,524
前受金	40,624,600	49,822,050	△9,197,450
前受購読料	4,331,250	3,707,866	623,384
前受り金	990,000	995,000	△5,000
仮受り金	4,426,567	6,742,859	△2,316,292
賞与引当金	85,265	52,631	32,634
未払消費税等(注)	2,252,313	2,289,000	△36,687
	2,825,800	2,205,900	619,900
流動負債合計	65,202,300	78,024,335	△12,822,035
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	36,410,510	93,380,838	△56,970,328
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	47,410,510	104,380,838	△56,970,328
負債合計	112,612,810	182,405,173	△69,792,363
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
民間補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	244,001,567	246,638,445	△2,636,878
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	0	0	0
正味財産合計	244,001,567	246,638,445	△2,636,878
負債及び正味財産合計	356,614,377	429,043,618	△72,429,241

貸借対照表内訳表

(平成28年2月29日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	113,409,359	35,696,020	0	149,105,379
未払掛金	2,464,236	0	0	2,464,236
未収掛金	0	4,713,382	0	4,713,382
未収掛金	0	0	0	0
棚卸資産	26,555,722	0	0	26,555,722
貯蔵品	0	123,885	0	123,885
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	0	199,920
前払金	4,631,125	42,660	0	4,673,785
仮払金	0	961,975	0	961,975
流動資産合計	147,060,442	41,737,842	0	188,798,284
<b>2. 固定資産</b>				
(1) 基本財産				
基本財産	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	2,267,376	0	2,267,376
標準物質開発基金	0	34,770,494	0	34,770,494
分析技術教育基金	0	12,980,270	0	12,980,270
国際交流事業基金	0	20,643,206	0	20,643,206
分析化学研究奨励基金	8,374,654	0	0	8,374,654
預り保証金引当預金	0	11,000,000	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	22,741,057	0	0	22,741,057
特定資産合計	31,115,711	81,661,346	0	112,777,057
(3) その他の固定資産				
建物	10,939,037	854,526	0	11,793,563
器具備品	74,912	8,676	0	83,588
土地	29,513,936	1,093,863	0	30,607,799
商標	98,446	0	0	98,446
ソフトウェア	0	0	0	0
電話加入権	26,320	1,680	0	28,000
敷金	94,000	6,000	0	100,000
長期貸付金	0	2,327,640	0	2,327,640
その他の固定資産合計	40,746,651	4,292,385	0	45,039,036
固定資産合計	71,862,362	95,953,731	0	167,816,093
<b>資産合計</b>	<b>218,922,804</b>	<b>137,691,573</b>	<b>0</b>	<b>356,614,377</b>
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	0	9,666,505	0	9,666,505
前受金	0	40,624,600	0	40,624,600
前受掛料	4,331,250	0	0	4,331,250
前受り金	990,000	0	0	990,000
預り金	3,536,660	889,907	0	4,426,567
仮受金	85,265	0	0	85,265
賞与引当金	1,409,948	842,365	0	2,252,313
未払消費税等	2,825,800	0	0	2,825,800
流動負債合計	13,178,923	52,023,377	0	65,202,300
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	4,486,295	31,924,215	0	36,410,510
預り保証金	11,000,000	0	0	11,000,000
固定負債合計	15,486,295	31,924,215	0	47,410,510
<b>負債合計</b>	<b>28,665,218</b>	<b>83,947,592</b>	<b>0</b>	<b>112,612,810</b>
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>				
民間補助金	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
正味財産合計	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>218,922,804</b>	<b>137,691,573</b>	<b>0</b>	<b>356,614,377</b>

正味財産増減計算書

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,000	6,568	432
基本財産運用益	7,000	6,568	432
特定資産運用益	67,481	305,524	△238,043
退職給付引当資産運用益	14,881	270,146	△255,265
標準物質開発基金運用益	27,494	21,186	6,308
分析技術教育基金運用益	8,891	3,795	5,096
国際交流事業基金運用益	5,554	320	5,234
分析化学研究奨励基金運用益	2,091	2,199	△108
預り保証金引当預金運用益	2,750	2,318	432
支部研究懇談会特定預金運用益	5,820	5,560	260
受 取 入 会 金	205,000	207,000	△2,000
受 取 会 費	90,309,984	78,914,490	11,395,494
正 会 員 会 費	34,662,500	32,313,500	2,349,000
生 会 員 会 費	1,989,000	2,515,875	△526,875
維 持 会 員 会 費	17,579,100	12,561,125	5,017,975
特 別 会 員 会 費	16,868,100	12,791,800	4,076,300
公 益 会 員 会 費	11,790,000	11,783,400	6,600
支 部 研 究 受 会 費	7,421,284	6,668,790	752,494
賛 助 会 員 受 会 費	0	280,000	△280,000
事 業 収 益	133,792,701	142,070,600	△8,277,899
購 読 料 収 入	5,871,377	8,295,080	△2,423,703
年 会 収 入	8,986,112	6,458,334	2,527,778
討 論 会 収 入	13,800,203	12,115,995	1,684,208
講 演 会 収 入	3,752,474	3,355,540	396,934
講 習 会 収 入	22,555,734	27,595,157	△5,039,423
研 究 懇 談 会 収 入	1,031,409	922,529	108,880
技 能 試 験 収 入	11,326,500	9,358,992	1,967,508
分 析 士 事 業 収 入	4,370,076	4,992,221	△622,145
S S 収 入	0	426,854	△426,854
印 税 収 入	961,443	1,532,215	△570,772
教 育 ビ デ オ ・ DVD 頒 布 収 入	1,955,000	2,589,000	△634,000
標 準 物 質 頒 布 収 入	21,568,162	23,387,890	△1,819,728
広 告 料 収 入	28,939,740	31,228,609	△2,288,869
別 刷 頒 布 収 入	8,137,949	8,571,033	△433,084
複 写 権 使 用 料 収 入	536,522	561,151	△24,629
技 能 試 験 受 託 収 入	0	0	0
J I S 改 正 受 託 収 入	0	680,000	△680,000
受 取 補 助 金	16,883,800	3,292,000	13,591,800
受 取 国 庫 補 助 金	14,300,000	0	14,300,000
受 取 民 間 補 助 金	2,105,000	3,062,000	△957,000
受 取 自 治 体 補 助 金	478,800	230,000	248,800
受 取 寄 附 金	84,000	844,872	△760,872
受 取 寄 附 金	84,000	844,872	△760,872
雑 収	1,109,261	678,399	430,862
受 取 利 息	80,941	84,807	△3,866
雑 収 益	1,028,320	593,592	434,728
経 常 収 益 計	242,459,227	226,319,453	16,139,774
(2) 経常費用			
事 業 費	193,481,338	211,099,047	△17,617,709
給 料 手 当	22,277,552	37,957,061	△15,679,509
臨 時 雇 賃 金	17,320,653	8,874,456	8,446,197
退 職 給 付 費	4,486,295	0	4,486,295
法 定 福 利 費	3,379,486	5,768,629	△2,389,143
福 利 生 費	0	0	0
会 議 費	21,772,399	24,239,128	△2,466,729
旅 費 交 通 費	17,466,336	21,080,012	△3,613,676
通 信 運 搬 費	3,708,566	4,063,919	△355,353
減 価 償 却 費	1,332,979	1,472,512	△139,533
修 繕 費	781,979	736,996	44,983

正味財産増減計算書

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	4,243,520	4,809,605	△566,085
印 刷 製 本 費	33,768,649	36,623,467	△2,854,818
光 熱 水 料 費	215,256	171,347	43,909
賃 借 料	0	573,335	△573,335
支 払 一 入 料	602,439	50,664	551,775
保 険 料	37,167	33,880	3,287
諸 謝 金	10,084,269	11,013,227	△928,958
租 税 公 課	5,075,063	4,177,720	897,343
支 払 負 担 金	390,968	443,542	△52,574
支 払 助 成 金	1,189,200	545,000	644,200
委 託 彰 費	41,799,142	44,677,833	△2,878,691
表 雑 費	2,503,632	2,721,139	△217,507
管 理 費	1,045,788	1,065,575	△19,787
給 料 手 費	53,191,054	58,269,027	△5,077,973
臨 時 雇 賃 当	15,200,899	22,069,100	△6,868,201
退 職 給 付 金 用	12,299,373	9,736,939	2,562,434
法 定 福 利 生 費	2,800,311	0	2,800,311
福 利 生 費	4,401,234	4,718,500	△317,266
旅 費 交 通 費	59,427	61,382	△1,955
通 信 運 搬 費	169,762	443,659	△273,897
消 耗 品 費	4,076,366	5,858,675	△1,782,309
修 繕 費	1,352,899	1,522,611	△169,712
印 刷 製 本 費	34,920	48,043	△13,123
光 熱 水 料 費	408,634	16,906	391,728
賃 借 料	550,351	1,000,438	△450,087
支 払 一 入 料	150,500	127,060	23,440
諸 謝 金	202,835	281,818	△78,983
租 税 公 課	197,118	447,155	△250,037
支 払 負 担 金	2,504,060	2,329,502	174,558
委 託 彰 費	0	0	0
雑 費	7,745	361,395	△353,650
	1,641,200	2,170,976	△529,776
	7,055,671	6,976,944	78,727
	77,749	97,924	△20,175
経 常 費 用 計	246,672,392	269,368,074	△22,695,682
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△4,213,165	△43,048,621	38,835,456
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△4,213,165	△43,048,621	38,835,456
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
固 定 資 産 売 却 益	1,590,462	0	1,590,462
経 常 外 収 益 計	1,590,462	0	1,590,462
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	14,175	7,456	6,719
当 期 経 常 外 増 減 額	1,576,287	△7,456	1,583,743
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△2,636,878	△43,056,077	40,419,199
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	246,638,445	289,694,522	△43,056,077
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	244,001,567	246,638,445	△2,636,878
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金 等	0	0	0
受 取 民 間 補 助 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	244,001,567	246,638,445	△2,636,878

正味財産増減計算書内訳表

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	7,000	0	7,000
基本財産運用益	0	7,000	0	7,000
特定資産運用益	7,911	59,570	0	67,481
退職給付引当資産運用益	0	14,881	0	14,881
標準物質開発基金運用益	0	27,494	0	27,494
分析技術教育基金運用益	0	8,891	0	8,891
国際交流事業基金運用益	0	5,554	0	5,554
分析化学研究奨励基金運用益	2,091	0	0	2,091
預り保証金引当預金運用益	0	2,750	0	2,750
支部研究懇談会特定預金運用益	5,820	0	0	5,820
受取入金	0	205,000	0	205,000
受取会費	45,154,992	45,154,992	0	90,309,984
正会員会費	15,602,118	19,060,382	0	34,662,500
学生会員会費	912,776	1,076,224	0	1,989,000
維持会会費	8,067,263	9,511,837	0	17,579,100
特別会員会費	7,740,976	9,127,124	0	16,868,100
公益会員会費	5,410,575	6,379,425	0	11,790,000
支部研究懇談会会費	7,421,284	0	0	7,421,284
賛助会員会費	0	0	0	0
事業収益	133,792,701	0	0	133,792,701
購読料収入	5,871,377	0	0	5,871,377
年会収入	8,986,112	0	0	8,986,112
討論会収入	13,800,203	0	0	13,800,203
講演会収入	3,752,474	0	0	3,752,474
講習会収入	22,555,734	0	0	22,555,734
研究懇談会収入	1,031,409	0	0	1,031,409
技能試験収入	11,326,500	0	0	11,326,500
分析士事業収入	4,370,076	0	0	4,370,076
S S 収入	0	0	0	0
印税収入	961,443	0	0	961,443
教育ビデオ・DVD頒布収入	1,955,000	0	0	1,955,000
標準物質頒布収入	21,568,162	0	0	21,568,162
広告料収入	28,939,740	0	0	28,939,740
別刷頒布収入	8,137,949	0	0	8,137,949
複写権使用料収入	536,522	0	0	536,522
技能試験受託収入	0	0	0	0
J I S 改正受託収入	0	0	0	0
受取補助金等	16,855,000	28,800	0	16,883,800
受取国庫補助金	14,300,000	0	0	14,300,000
受取民間補助金	2,105,000	0	0	2,105,000
受取自治体補助金	450,000	28,800	0	478,800
受取寄附金	84,000	0	0	84,000
受取寄附金	84,000	0	0	84,000
雑収入	1,008,439	100,822	0	1,109,261
受取利息	13,749	67,192	0	80,941
雑収益	994,690	33,630	0	1,028,320
経常収益計	196,903,043	45,556,184	0	242,459,227
(2) 経常費用				
事業費用	193,481,338	0	0	193,481,338
給料手当	22,277,552	0	0	22,277,552
臨時雇賃金	17,320,653	0	0	17,320,653
退職給付費用	4,486,295	0	0	4,486,295
法定福利費	3,379,486	0	0	3,379,486
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	21,772,399	0	0	21,772,399
旅費交通費	17,466,336	0	0	17,466,336
通信運搬費	3,708,566	0	0	3,708,566
減価償却費	1,332,979	0	0	1,332,979
修繕費	781,979	0	0	781,979

正味財産増減計算書内訳表

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消 耗 品 費	4,243,520	0	0	4,243,520
印 刷 製 本 費	33,768,649	0	0	33,768,649
光 熱 水 料 費	215,256	0	0	215,256
賃 借 料	0	0	0	0
支 払 リ 一 ス 料	602,439	0	0	602,439
保 険 謝 料	37,167	0	0	37,167
諸 謝 金	10,084,269	0	0	10,084,269
租 税 公 課	5,075,063	0	0	5,075,063
支 払 負 担 金	390,968	0	0	390,968
支 払 助 成 金	1,189,200	0	0	1,189,200
委 託 費	41,799,142	0	0	41,799,142
表 彰 費	2,503,632	0	0	2,503,632
雑 費	1,045,788	0	0	1,045,788
管 理 費	0	53,191,054	0	53,191,054
給 料 手 当	0	15,200,899	0	15,200,899
臨 時 雇 賃 金	0	12,299,373	0	12,299,373
退 職 給 付 費	0	2,800,311	0	2,800,311
法 定 福 利 費	0	4,401,234	0	4,401,234
福 利 厚 生 費	0	59,427	0	59,427
福 議 費	0	169,762	0	169,762
旅 費 交 通 費	0	4,076,366	0	4,076,366
通 信 運 搬 費	0	1,352,899	0	1,352,899
減 価 償 却 費	0	34,920	0	34,920
消 耗 品 費	0	408,634	0	408,634
修 繕 費	0	550,351	0	550,351
印 刷 製 本 費	0	150,500	0	150,500
光 熱 水 料 費	0	202,835	0	202,835
賃 借 料	0	197,118	0	197,118
支 払 リ 一 ス 料	0	2,504,060	0	2,504,060
諸 謝 金	0	0	0	0
租 税 公 課	0	7,745	0	7,745
支 払 負 担 金	0	1,641,200	0	1,641,200
委 託 費	0	7,055,671	0	7,055,671
雑 費	0	77,749	0	77,749
経 常 費 用 計	193,481,338	53,191,054	0	246,672,392
評価損益等調整前当期経常増減額	3,421,705	△7,634,870	0	△4,213,165
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	3,421,705	△7,634,870	0	△4,213,165
2. 経 常 外 増 減 の 部				
(1) 経 常 外 収 益				
固 定 資 産 売 却 益	1,431,416	159,046	0	1,590,462
経 常 外 収 益 計	1,431,416	159,046	0	1,590,462
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	14,175	0	0	14,175
当 期 経 常 外 増 減 額	1,417,241	159,046	0	1,576,287
他 会 計 振 替 額	1,115,108	△1,115,108		0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	5,954,054	△8,590,932	0	△2,636,878
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	5,954,054	△8,590,932	0	△2,636,878
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	184,303,532	62,334,913	0	246,638,445
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
建物…定額法を採用している。（ただし、平成 10 年 3 月以前に取得した建物については定率法を採用している。）  
器具備品…定率法を採用している。  
無形固定資産  
ソフトウェア・商標権…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。  
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜き方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	66,273,151	14,881	64,020,656	2,267,376
標準物質開発基金	64,743,000	27,494	30,000,000	34,770,494
分析技術教育基金	12,971,675	8,891	296	12,980,270
国際交流事業基金	20,639,075	5,554	1,423	20,643,206
分析化学研究奨励基金	8,372,563	2,091	0	8,374,654
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	27,537,937	2,012,073	6,808,953	22,741,057
小 計	211,537,401	2,070,984	100,831,328	112,777,057
合 計	221,537,401	2,070,984	100,831,328	122,777,057

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財 産からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	2,267,376	—	—	(2,267,376)
標準物質開発基金	34,770,494	—	(34,770,494)	—
分析技術教育基金	12,980,270	—	(12,980,270)	—
国際交流事業基金	20,643,206	—	(20,643,206)	—
分析化学研究奨励基金	8,374,654	—	(8,374,654)	—
預り保証金引当預金	11,000,000	—	—	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	22,741,057	—	(22,741,057)	—
小 計	112,777,057	—	(99,509,681)	(13,267,376)
合 計	122,777,057	—	(109,509,681)	(13,267,376)

## 財務諸表に対する注記

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	57,522,500	45,728,937	11,793,563
器 具 備 品	5,779,913	5,696,325	83,588
合 計	63,302,413	51,425,262	11,877,151

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 該当事項はありません。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(作成途中、内訳を全て記載する必要がある)

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	0	14,300,000	14,300,000	0	
自治体補助金	山 梨 県	0	150,000	150,000	0	
	そ の 他	0	328,800	328,800	0	
民間補助金	滋賀県工業技術センター等	0	2,105,000	2,105,000	0	
合 計		0	16,883,800	16,883,800	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 該当事項はありません。

## 付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
 財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。
2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	2,289,000	2,252,313	2,289,000	0	2,252,313
退 職 給 付 引 当 金	93,380,838	7,286,606	64,256,934	0	36,410,510

財 産 目 録

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	運転資金として (本部現金358,169)	807,206
	預金		148,298,173
	普通預金		64,737,128
	三井住友銀行五反田支店	本部	28,878,588
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	9,988,089
	三井住友銀行新宿支店	本部	2,878,225
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	4,140,755
	みずほ銀行五反田支店	本部	18,851,207
	三井住友銀行金沢支店	若手交流会	264
	支部/普通預金		26,342,230
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	1,238,896
	七十七銀行大学病院前	東北支部	1,859,613
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	12,176,598
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	1,975,211
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	4,870,575
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	1,134,447
	広島銀行西条支店	中国四国支部	3,086,890
	研究懇談会/普通預金		24,356,087
	群馬銀行桐生支店	環境分析研究懇談会	818,932
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	4,583,155
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	2,126,051
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	2,811,269
	りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	1,520,780
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	625,300
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	305,471
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	5,366,914
	三菱UFJ銀行網島支店	化学センサー研究懇談会	77,879
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	571,386
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,564,529
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,661,207
	三菱東京UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	160,479
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	3,865
	十六銀行黒野支店	第76回討論会実行委員会が使用	801,252
	北海道銀行札幌駅北口支店	第65回年会実行委員会が使用	1,357,618
	ゆうちょ銀行 (通常貯金)		2,908,660
		九州支部	1,769,263
		受託分析研究懇談会	497,480
		溶液界面研究懇談会	12,073
		有機微量分析研究懇談会	295,204
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	259,337
		溶液反応化学研究懇談会	15,303
		有機微量シンポジウム委員会が使用	60,000
ゆうちょ銀行 (口座振替)	運営資金として	22,608,290	
	本部	18,346,461	
	大会口	35,000	
	環境分析研究懇談会	426,531	
	有機微量分析研究懇談会	517,787	
	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	63,000	
	フローインジェクション分析研究懇談会	1,102,021	
	表示・起源分析技術研究懇談会	2,069,304	
	レアメタル分析研究懇談会	48,186	
定期預金		7,345,778	
りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,762	
広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000	
りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,274,980	
りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,265,036	
売掛金	標準物質, 教育 DVD	2,464,236	
	公益目的事業での販売商品に対する未収額	2,464,236	

## 財 産 目 録

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷, 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	4,713,382
	前払金	討論会・年会実行委員会他		4,673,785
	討論会		第76回討論会実行委会	1,198,850
	年会		第65回年会実行委員会	2,642,485
	有機微量シンポジウム		有機微量シンポジウム	340,000
	その他		業者委託費	492,450
	棚卸資産	会誌/標準物質/教育 DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	26,555,722
	標準物質			23,853,137
	DVD			2,029,000
	その他			673,585
	貯蔵品	切手, 印紙, はがき	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	123,885
	一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
	仮払金	労働保険料	職員に対するもの	961,975
流動資産合計				188,798,284
(固定資産)				
基本財産				
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000	
特定資産				
退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	2,267,376	
普通預金	みずほ銀行五反田支店	支払の財源として使用	2,267,376	
標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	34,770,494	
普通預金	三井住友銀行五反田支店		5,786,453	
定期預金	三井住友銀行五反田支店		20,000,000	
MMF	大和証券五反田支店		8,984,041	
預り保証金引当預金			11,000,000	
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり, 運用益を本事業の財源として使用	10,000,000	
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000	
国際交流事業基金		研究会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	20,643,206	
普通預金	三井住友銀行五反田支店		20,643,206	
分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	8,374,654	
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		8,374,654	
分析技術教育基金		講演会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	12,980,270	
普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,980,270	
定期預金	三井住友銀行五反田支店		10,000,000	
支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	22,741,057	
普通預金	北洋銀行本店営業部	北海道支部	282,895	
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	4,516,001	
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	4,333,016	
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	2,001,252	
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,623,609	
	三菱東京UFJ銀行	フローインジェクション分析研究懇談会	977,427	
定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	1,659,259	
	りそな銀行五反田支店	高分子研究懇談会	3,021,582	
	りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	2,327,797	
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,998,219	

財 産 目 録

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産) その他 固定資産	建物	220.4 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田		11,793,563
	器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用	83,588
	土地	30.22 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の管理業務で使用している	30,607,799
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
	商標権	英文誌、ぶんせき、分析化学	公益目的保有財産であり公益目的事業で使用	98,446
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		2,327,640
固定資産合計				167,816,093
資 産 合 計				356,614,377
(流動負債)	未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	9,666,505
	前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	40,624,600
	前受金	高分子分析研究懇談会	翌年度実施技術講習会（第52回）の前受額	990,000
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	4,331,250
	預り金	所得税 社会保険料等		4,426,567
	討論会			1,035,000
	年会			2,000,000
	有機微量シンポジウム			200,000
	健康保険料			358,485
	厚生年金保険料・厚生年金基金			40,097
	所得税			109,156
	源泉税			94,669
	住民税			241,500
	その他			347,660
	仮受金			85,265
	賞与引当金	職員 5 名の夏期賞与	職員 5 名の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,252,313
	未払消費税等			2,825,800
流動負債合計				65,202,300
(固定負債)	退職給付引当金	職員 5 名の退職金	職員 5 名の退職金の支払いに備えたもの	36,410,510
	預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受け入れたもの	11,000,000
固定負債合計				47,410,510
負 債 合 計				112,612,810
正 味 財 産				244,001,567

# 監事監査報告書

平成 28 年 4 月 27 日

公益社団法人 日本分析化学会  
会長 鈴木 孝治 殿

公益社団法人 日本分析化学会

監事 金澤 秀子 

監事 前田 瑞夫 

私たち監事は、公益社団法人 日本分析化学会の平成 27 年 3 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日までの平成 27 年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第 7 条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人に必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、平成 27 年度事業報告書を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

## 2. 監査結果

- 一、事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

平成 28 年度 予算書

(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,000	6,000	1,000
基本財産受取利息	7,000	6,000	1,000
特定資産運用益	74,000	19,000	55,000
退職給付引当資産	20,000	0	20,000
標準物質開発基金	30,000	10,000	20,000
国際交流事業基金	4,000	0	4,000
分析化学研究奨励基金	2,000	6,000	△4,000
分析技術教育基金	9,000	0	9,000
預り保証金引当預金	3,000	3,000	0
支部研究懇談会特定預金	5,000	0	5,000
受取入金会金	180,000	205,000	△25,000
受取入金会費	180,000	205,000	△25,000
受取会費	92,070,000	86,250,000	5,820,000
正会員受取会費	35,000,000	32,000,000	3,000,000
学生会員受取会費	2,590,000	2,500,000	90,000
維持会員受取会費	18,000,000	17,000,000	1,000,000
特別会員受取会費	17,500,000	17,000,000	500,000
公益会員受取会費	12,000,000	11,000,000	1,000,000
支部研究懇談会受取会費	6,700,000	6,500,000	200,000
賛助会員受取会費	280,000	250,000	30,000
事業収益	128,150,000	126,820,000	1,330,000
購読料収入	8,000,000	8,000,000	0
年会収入	9,000,000	7,000,000	2,000,000
討論会収入	13,000,000	12,800,000	200,000
講演会収入	3,000,000	3,000,000	0
講習会収入	22,000,000	27,860,000	△5,860,000
研究懇談会収入	1,000,000	320,000	680,000
技能試験収入	8,500,000	8,000,000	500,000
分析士事業収入	5,000,000	5,000,000	0
S S 収入	0	50,000	△50,000
印税収入	1,000,000	1,000,000	0
教材頒布収入	2,000,000	2,000,000	0
標準物質収入	22,000,000	21,000,000	1,000,000
広告料収入	24,000,000	21,040,000	2,960,000
別刷頒布収入	8,700,000	8,650,000	50,000
複写権使用収入	500,000	400,000	100,000
J I S 改正受託収入	380,000	700,000	△320,000
事務委託収入	70,000	0	70,000
受取補助金等	16,350,000	2,068,000	14,282,000
受取国庫補助金	15,000,000	0	15,000,000
受取民間補助金・自治体補助金	1,350,000	2,068,000	△718,000
受取寄付金	100,000	300,000	△200,000
受取寄付金	100,000	300,000	△200,000
雑収益	980,000	664,000	316,000
受取利息収入	80,000	4,000	76,000
雑収	900,000	660,000	240,000
経常収益計	237,911,000	216,332,000	21,579,000
(2) 経常費用			
事業費用	184,490,000	211,469,000	△26,979,000
給与手当	25,000,000	34,800,000	△9,800,000
臨時雇賃金	10,960,000	9,700,000	1,260,000
退職給付費用	1,000,000	4,379,000	△3,379,000
法定福利費	3,000,000	5,500,000	△2,500,000
会議費	21,000,000	24,000,000	△3,000,000
旅費交通費	20,000,000	21,000,000	△1,000,000
通信運搬費	4,000,000	4,000,000	0

平成 28 年度 予 算 書

(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増 減
減価償却費	1,500,000	1,500,000	0
消耗品費	4,800,000	5,000,000	△200,000
修繕費	700,000	700,000	0
印刷製本費	34,000,000	36,000,000	△2,000,000
光熱水料費	240,000	200,000	40,000
賃借料	600,000	600,000	0
支払リース料	50,000	50,000	0
支払保険料	40,000	40,000	0
諸謝金	10,000,000	11,000,000	△1,000,000
租税公課	4,000,000	4,500,000	△500,000
支払負担金	600,000	450,000	150,000
支払助成金	500,000	550,000	△50,000
委託費	39,000,000	44,000,000	△5,000,000
表彰費	2,500,000	2,500,000	0
雑費	1,000,000	1,000,000	0
管理費	53,080,000	42,970,000	10,110,000
給与手当	14,130,000	9,500,000	4,630,000
臨時雇賃金	11,000,000	10,000,000	1,000,000
退職給付費	300,000	0	300,000
法定福利費	4,420,000	3,000,000	1,420,000
福厚生費	100,000	0	100,000
旅費交通費	5,500,000	5,000,000	500,000
通信運搬費	2,000,000	1,500,000	500,000
減価償却費	50,000	50,000	0
消耗品費	80,000	20,000	60,000
修繕費	450,000	0	450,000
印刷製本費	200,000	200,000	0
光熱水料費	250,000	300,000	△50,000
賃借料	500,000	3,000,000	△2,500,000
支払リース料	2,750,000	2,300,000	450,000
租税公課	350,000	300,000	50,000
支払負担金	2,000,000	2,200,000	△200,000
委託費	7,400,000	5,000,000	2,400,000
雑費	100,000	100,000	0
会長企画戦略経費	1,000,000	0	1,000,000
経常費用計	237,570,000	254,439,000	△16,869,000
評価損益調整前当期増減額	341,000	△38,107,000	△37,766,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	341,000	△38,107,000	△37,766,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	341,000	△38,107,000	△37,766,000
一般正味財産期首残高	208,531,445	246,638,445	△38,107,000
一般正味財産期末残高	208,872,445	208,531,445	341,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	208,872,445	208,531,445	341,000